

## Reader's VIEW

## 2020 Vol.2 へのご意見・ご感想

このコーナーでは、編集部へ寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

\*『VIEW21』教育委員会版のバックナンバーは「ベネッセ教育総合研究所」ウェブサイト (<https://berd.benesse.jp>) でご覧いただけます。

◎特集「『可視化』への挑戦」は、エビデンスの重要性を4つの事例と対談で明らかにしていく構成であり、行政の説明責任の観点からも、客観的な根拠の有効性と、それに裏づけられた取り組みの有意性を確認できました。特に非認知能力の育成においてエビデンスを活用できると、可視化により検証がしやすくなると思いました。(福岡県)

◎特集のキーワードである「EBPM」は、大切な教育理念です。データ活用は組織マネジメント上も重要で、情報共有に基づいた実践には教育効果が期待できます。ただしデータは、あくまでも教育活動の客観的な補助情報として活用するシステムです。データを重視しすぎるあまり、子どもを分類化するような教育にならないよう注意しなければなりません。そのためにも、データを活用する教員を、血の通った教育者として育てる必要性を感じました。(千葉県)

◎特集の対談で埼玉県戸田市の戸ヶ崎勤教育長が指摘された、「経験・勘・気合」から「検証・根拠・科学」に基づく教育へと転換することの重要性にはっとさせられました。「経験・勘」を否定はしませんが、あまりに偏っていれば弊害もあります。「検証・根拠」の度合いをより高めしていく必要があると感じています。(山形県)

◎特集の事例で紹介された兵庫県尼崎市のように、学校が組織として機能するための働きかけが、今後は一層重要になると考えます。指導主事が教員一人ひとりに直接指導する従来の方式では、指導主事が学校に来た時だけの単発的な取り組みに終わってしまいがちです。行政にも学校にも、発想の転換が必要です。(新潟県)

◎将来的には、小学校にも英語4技能検定を導入し、アセスメントを軸とした小中連携を図ることで、義務教育全体の英語教育を改善する必要があります。特集の高知県高知市の取り組みを読み、小学校と中学校が互いに互いを理解し合い、協力していけばよいかを考えました。また、英語

の評価について詳しく知りたいと思いました。(新潟県)

◎新型コロナウイルスに関する様々な情報があふれ、不安を感じながら日々実践をする中で、特別企画「With コロナ時代の学校づくり」は、学校が進むべき方向性を示してくれた記事でした。「できる範囲で最大限の対策を講じ、子どもの学びを止めないことが、我々大人には求められています」。この言葉が心に残り、これからも大切にしていきたいと思いました。(富山県)

◎連載「フロントランナーに聞く 教育の next」では、オンラインによるフロントランナーと読者との双方向のやり取りという、誌面を超えた新しい取り組みに興味を持ちました。予測できない未来がもう来てしまったのだという思いがあります。コロナ禍で教育も大きく揺れています。自分でも、不易と流行をしっかり見極めていかなければならないと感じました。(秋田県)

◎連載「フロントランナーに聞く 教育の next」を読み、学校は「コレクティブ・インパクト」を体験できる場であるという竹村詠美氏の指摘に共感しました。学校は、一人ひとりが異なる存在として集団生活を送る場であり、そこでの体験こそが子どもを成長させます。学校で単に知識を習得させればよかった時代は過ぎ、AIにはできない、真に生きる力を身につけさせることが、学校には求められていると考えます。(茨城県)

◎本市では小中一貫教育を推進しており、連携校との授業研究会や連携校での勤務などを通じて、小・中の学校文化の違いを知る機会があり、教員同士も顔が分かる関係を築いています。しかし、校内研究を一本化し、育成を目指す子ども像の共有をしても、具体的なアプローチ法までは共有できていません。連載「新課程 GOOD プラクティス」を読み、異学年での合同授業など、児童生徒間の交流活動についても考えなければならぬと思いました。(宮城県)

## 編集後記

『VIEW21』としての最終号は、11都府県(1月下旬時点)の緊急事態宣言下での製作となりました。多忙な業務の中で取材にご協力くださった皆様、そして、今年度は変則的な形態での発刊となったにもかかわらずおつき合いくださった読者の皆様に、心より御礼申し上げます。次号からは『VIEW next』として、ステップアップを目指します。今後ともご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。(久保木)

## VIEW21 教育委員会版 2020 Vol.3 2021年2月24日発行/通巻23号

発行人 山河健二  
編集人 春名啓紀  
発行所 (株)ベネッセコーポレーション  
ベネッセ教育総合研究所  
印刷製本 研精堂印刷(株)  
編集協力 (有)ベンダコ  
執筆協力 田中祥子、二宮良太  
撮影協力 荒川 潤、ヤマグチイキ  
イラスト協力 齊藤明子

◎お問い合わせ先  
フリーダイヤル 0120-350455  
〒700-8686  
岡山市北区南方3-7-17